

施 設 報 告

活 動 報 告

(令和3年度)

令和3年度活動報告

1. 収蔵資料概要

1) 収蔵資料数(令和4年3月31日現在)

項目	地学	生物	考古	民族	生活	産業	文献記録	合計
点数	5,617	2,805	84,389	535	12,399	13,183	7,849	126,777

2) 資料受入状況(平成29～令和3年度)

年 度	寄 贈		採 集		収 集 (購入)		計 (点数)
	件 数	点 数	件 数	点 数	件 数	点 数	
29	24	368	0	0	0	0	368
30	27	534	0	0	0	0	534
31・令和元	22	165	0	0	0	0	165
令和2	22	228	0	0	0	0	228
令和3	20	165	0	0	0	0	165

3) 令和3年度寄贈者芳名(敬称略・寄贈順)

鈴木 邦輝……雪の祭典バッジ、他	13点	菅原 晴子……こいのぼり	1点
沖澤 喜義……こいのぼり	1点	関口 一男……黒曜石原石、石鏃	3点
高取 勲生……日本相撲協会番付表	1点	丹保 優……上川北部相撲連盟優勝旗	1点
匿名 ……木彫熊	6点	安部 吉一……戦時貯蓄債券、感謝状	5点
今西 梨沙……こいのぼり	1点	桜庭 康喜……河童大明神像	1点
宗片 清美……MDプレーヤー、木製櫛、他	4点	高木 信行……東風連駅写真データDVD、他	4点
藤田美恵子……名寄岩手形	1点	森 富一……箆筥	1点
旭川文学資料館……新聞記事スクラップ、他	120点		
武田 睦男……鶴首ひょうたん工芸品	2点		

区 分 月 別	個 人				団 体			行事・催し物		利用者	開館	一日
	高校生 以下	一般・学生	高齢者	免 除	団 体	視 察	見 学	回数	人数	総 計	日数	平均
4月	76	111	18	21	0	1	79	2	484	790	26	30
5月	69	139	19	31	0	0	0	2	381	639	15	43
6月	10	40	6	4	0	0	0	1	205	265	8	33
7月	91	242	51	38	0	0	41	4	747	1,210	27	45
8月	173	351	74	50	0	3	28	2	725	1,404	25	56
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	#####
10月	35	141	32	53	0	0	0	2	462	723	27	27
11月	32	87	18	16	0	10	4	3	336	503	25	20
12月	12	43	2	22	0	0	62	4	255	396	26	15
1月	28	39	10	2	0	0	90	3	203	372	22	17
2月	37	79	7	6	0	0	165	2	294	588	24	25
3月					0	0				0	27	0
合 計	563	1,272	237	243	0	14	469	25	4,092	6,890	252	27

4) 令和3年度 北国博物館月別利用者

2. 普及事業

1) 展示会

～特別展～

① 第44回特別展

「カブトムシとクワガタムシ」

と き 7月3日～8月25日

と ころ 北国博物館ギャラリーホール

展示数 70点

内 容 道内に生息するカブトムシとクワガタムシの生態や体の特徴について解説するとともに、古来からの昆虫飼育など民俗文化も紹介しながら生態展示と環境問題などについても提示した。

主 催 名寄市北国博物館



② 第45回特別展

「アイヌと植物～命をつなぐ保存の知恵」

と き 12月17日～2月15日

と ころ 北国博物館ギャラリーホール

展示数 101点

内 容 厳しい冬を越すため、限られた自然の恵みである植物をアイヌの人々がどのように採取・処理・保存し、どう調理したかについて解説した。あわせて実際に採取した12種の植物や所蔵する関連資料を展示した。

主 催 名寄市北国博物館



① 及川幸雄展

と き 4月3日～4月18日

ところ 北国博物館ギャラリーホール
展示数 17点
内容 道北の自然を表現する画家として、サ
ロン・ドートンヌ展で入選を重ね、2019
年に会員に推挙された及川氏の個展で、
2018年入選作の他、屏風絵などを展示し
た。
主 催 及川幸雄
共 催 名寄新聞社

② 杉並区児童名寄自然体験交流事業

「学習成果作品展」

と き 4月24日～5月9日
ところ 北国博物館ギャラリーホール
展示数 15点
内容 厳冬期の冬休みに名寄市を訪れ様々な
冬の自然体験をした杉並区児童が自分の
目で見て、体験した内容を一人ひとりが
作品にして展示した。
主 催 杉並区教育委員会/名寄市教育委員会

③ 宗谷本線旧北星駅関連資料展

と き 4月24日～5月9日
ところ 北国博物館ギャラリーホール
展示数 7点
内容 JR北海道のダイヤ改正に伴い令和3年
3月12日で廃駅となった市内智恵文地区
にあった北星駅の駅名隣接板や列車発車
時刻表などを展示した。
主 催 名寄市北国博物館

④ 野外植物展

と き 4月25日～5月9日
ところ 北国博物館ギャラリーホール
展示数 121点
内容 なよろ野の花の会会員による身近な植
物を素材にした写真、標本、リースなどを
展示し、地域の野外植物の魅力を伝えた。
主 催 なよろ野の花の会

⑤ キツツキ展

と き 5月14日～6月8日
5月18日～6月20日緊急事態宣言に伴う臨時休館

⇒6月22日～6月27日企画展再開

ところ 北国博物館ギャラリーホール
展示数 78点
内容 愛鳥週間に因み、市の鳥に制定されて
いるアカゲラをはじめ、北海道に生息す
るキツツキ類の生態やアイヌ文化に伝わ
る言葉や伝承などを紹介した。
協 力 士別市立博物館、名寄野鳥の会、
国立研究開発法人森林研究整備機構 森林総合研究所



⑥ カタツムリ展

と き 7月2日～7月18日
ところ 北国博物館ラウンジ
展示数 40点
内容 でんでん虫の呼び名や童謡で親しまれ、
老若男女が知っているカタツムリは、昆
虫でなく、陸生の貝類であることの特徴
や生態についてを中心に、アイヌ文化や
カタツムリの方言など人との関りについ
ても紹介した。

主 催 名寄市北国博物館

⑥ 森のたんけん隊2020冬

と き 1月9日～10日
ところ 北海道大学雨龍地方研究林
参加者 27名
内容 幌加内町母子里において冬の樹木観
察やイグルー作り、宝探しなど冬の森と
雪に親しむ活動を行った。
主 催 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター/
幌加内町教育委員会/名寄市北国博物館

⑦ 北国風景画同好会「風花」作品展

と き 7月2日～7月18日
ところ 北国博物館ギャラリーホール

展示数 45点

内容 博物館を拠点に活動する北国風景画同好会風花会員が名寄の風景を描いた作品を展示した。

主催 北国風景画同好会「風花」

⑧ 企画展「名寄と戦争～80年前の緊急事態～」

とき 10月1日～11月9日

ところ 北国博物館ギャラリーホール

展示数 89点

内容 コロナ禍という緊急事態が続く中で、80年前に開戦した太平洋戦争下での行政、住民、学校での戦争協力や非常事態の中での生活について振り返った。

主催 名寄市北国博物館



⑨ 北国風景画同好会「風花」～秋季展～

とき 11月12日～12月7日

ところ 北国博物館ギャラリーホール

展示数 42点

内容 芸術の秋に因み秋季展として会員による秋の新作展とし昨年度に続き2回目の開催。

⑩ 台所と道具のいま・むかし展

とき 12月17日～2月15日

ところ 北国博物館ラウンジ

展示数 32点

内容 台所を視点に水道、ガス、電気や電化製品が普及した前後の生活と設備や道具の移り変わりを見て触って体感してもらうため、昭和20年代と40年代の台所と食卓周辺を再現展示した。

主催 名寄市北国博物館



⑪ 小さな自然観察クラブ活動報告展

とき 1月21日～2月15日

ところ 北国博物館ギャラリーホール

展示数 10点

内容 5月から11名のクラブ員と実施してきた観察クラブの1年間の取り組みを紹介した。

主催 名寄市北国博物館

共催 道北自然観察指導員会

⑫ シマエナガ

とき 2月18日～3月15日

ところ 北国博物館ギャラリーホール

展示数 131点

内容 愛くるしい姿が人気の野鳥・シマエナガの写真を展示し、厳寒の冬を生き抜く生態やシマエナガの特徴について紹介した。

主催 名寄市北国博物館

⑬ 懐かしの建物絵画展

とき 2月18日～3月15日

ところ 北国博物館ラウンジ

展示数 20点

内容 昭和期に市内に存在し暮らしの中に溶け込んでいた懐かしの建物の水彩画を展示した。

主催 名寄市北国博物館

⑭ 令和3年度新着資料展

とき 3月18日～4月5日

ところ 北国博物館ギャラリーホール
展示数 121点
内容 当年度に市民から寄贈を受けた資料を分野ごとに展示し、寄贈者への感謝の意を表すため準備した。
主催 名寄市北国博物館

参加者 13名
内容 幌加内町母子里において冬の樹木観察や動物の痕跡観察など冬の森と雪に親しむ活動を行った。
主催 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター／幌加内町教育委員会／名寄市北国博物館

2) 自然観察会

① 「小さな自然観察クラブ」

とき 5月～1月の第2土曜日
ところ 市内一円および近郊
参加者 延58名
内容 子供達に身近な自然に触れてもらいながら、自然の正しい知識を身につけてもらうためや土曜の午前を有意義に過ごしてもらうため開催。

主催 名寄市北国博物館
共催 道北自然観察指導員会

■開催日程■

5月 8日 砺波ヶ丘で春を探そう
(砺波ヶ丘 11名)
7月 11日 川釣り体験
(ピヤシリ川 11名)
10月 9日 健康の森で秋を探そう
(健康の森 9名)
11月 13日 ものづくり体験
(博物館 10名)
12月 11日 キャンドル作り
(博物館 10名)
1月 7日 思い出パネルを作ろう
(博物館 7名)

※6月、9月に予定していた行事は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止した。

⑤ 杉並・名寄児童自然体験交流事業

とき 12月25日～27日
ところ 北国博物館
参加者 杉並区児童15名・名寄市児童7名
内容 交流自治体・杉並区の児童が冬の名寄を訪れ、博物館での学習や森でスノーシュー体験などを北国名寄の冬を体感し自然、歴史、文化を学んだ。
指導 道北自然観察指導員会

⑥ 森のたんけん隊2022冬

とき 1月13日
ところ 北海道大学雨龍地方研究林

3. 協力団体の活動

1) 名寄SL排雪列車(キマロキ)保存会

設立年度 昭和51年12月25日

会長 中田 一良

会員数 39名

事務局 〒096-0063名寄市宇緑丘222番地
名寄市北国博物館(01654)3-2575

[令和3年度の事業]

4月 令和3年度定期総会(書面会議)

4月22日 冬囲いシート撤去作業指導(4名)

4月29日～10月3日

日曜祝日巡視及び保守作業(延59名)

6月28日～6月28日 キマロキ塗装作業

動輪、他(延19名)

10月21日

冬囲いシート掛け作業指導(4名)

2) なよろ野の花の会

設立 昭和58年11月10日

会長 上野 紘一

会員数 20名

事務局 〒096-0036 名寄市西6条北2丁目

上野 紘一(01654)3-3428

[令和3年度の活動]

3月 21日 冬の樹林探訪会及び定期総会

(北国博物館 10名)

4月25日～5月9日 野外植物展(博物館)

5月9日 早春の植物観察会(砺波ヶ丘10名)

7月25日 夏の植物観察会(健康の森 6名)

10月10日 紅葉観察会(智東 10名)

11月21日 学習会親睦の集い

(よろいな 16名)

連絡紙:「プイタウシ」290号～301号

3) 道北自然観察指導員会

設立 平成4年2月29日

会 長 佐藤 明
会 員 数 30名
連 絡 先 〒096-0063 名寄市字緑丘222番地
名寄市北国博物館 (01654)3-2575

[令和3年度の活動]

3月26日 定期総会 (書面会議)
5月～1月の第2土曜日
※6, 9月は緊急事態宣言のため中止
小さな観察クラブ (市内、他 延34名)
12月26日 杉並区小学生自然体験交流
(北国博物館 5名)

4) 北国風景画同好会「風花」

設 立 平成14年1月26日
会 長 菊地 利明
会 員 数 21名
連 絡 先 〒096-0063 名寄市字緑丘222番地
名寄市北国博物館 (01654)3-2575

[令和3年の活動]

1月17日 総会・ 風景画教室
2月12日 第1回 自然物教室
2月28日 第2回 風景画教室
3月28日 第3回 風景画教室
4月14日 第2回 自然物教室
4月25日 第4回 風景画教室
5月18日～6月20日臨時休館のため例会中止
6月27日 第5回 屋外スケッチ
7月 9日 第3回 自然物教室
7月25日 第6回 風景画教室
8月22日 第7回 風景画教室
9月臨時休館のため例会中止
10月 7日 第4回 自然物教室
10月24日 第8回 風景画教室
11月11日 第5回 自然物教室
11月28日 第9回 風景画教室
7月2日～7月18日 作品展示会
(北国博物館 45点出展)
11月12日～12月7日 作品展示会
(北国博物館 42点出展)
連絡紙：「風花」通信181～148号